



ふじまつ



「明るく」<あいさつができる>
「仲よく」<そうじができる>
「正しく」<上級生が手本を示す>



～令和4年度1学期のめあて「できることから、できるところから進んでしよう」～

桜の花びらに包まれ、4月7日（木）には、2～6年生の令和4年度始業式、12日（火）には、新1年生の入学式を無事に終わることができました。始業式では、校長から子どもたちに、昨年度、学校生活の中で、自分が成長した姿を新しい学年で見せてほしいと話しました。その際、1学期のめあてを「できることから、できるところから進んでしよう！」とし、学習や生活面で、苦手なこともあるだろうが、何もしないのではなく、まずは自分でできることから、できるところから始めてみようと話しました。その一つは、「あいさつ」です。1日のスタートを気持ちよくするのは、朝のあいさつです。あいさつは、誰でもどこでもできることです。あいさつをすることで、相手との絆が生まれます。そして、もう一つが、「そうじ」です。そうじを一生懸命にすることで、学校がきれいになるばかりではなく、自分のこころも清々しい気持ちになります。一人がたった一つゴミなどを拾うことで、全校児童225人の協力があると、学校がとてもきれいになります。そのような環境で過ごすことで、友だちどうし仲よくなるし、学習もはかどるものです。以上をお話しました。



入学式の式辞では、新1年生に藤松小の校訓である「明るく・仲よく・正しく」について話しました。いよいよ今日（13日）から、全校児童がそろっての学校生活がスタートとなりました。まだまだ学校や家庭等でのコロナウイルス感染症予防をしっかりと行っていかなくてはなりません。この1年間、子どもたちが、安全で安心して学校生活を送れることができるように。また、子どもたちの可能性を最大限に伸ばすことができるように、全職員で指導してまいりたいと考えます。どうぞ、本年度も本校教育活動に温かいご理解とご支援の程よろしく申し上げます。

令和4年度 教職員紹介

個人情報保護の観点から掲載していません。

本年度、本校に赴任した職員が加わり、「チーム藤松」となって子どもたちのために、一生懸命に頑張りますので、ご協力よろしく申し上げます。

保護者の皆様へおねがい



現在もなお、全国的に感染者数の高止まりで、北九州市でも新型コロナウイルス感染症の終息の兆候が見られません。ご家庭におかれましても引き続き、朝の検温、マスクの着用等、お子様を登校させる前の感染予防にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。